

【採択内容一覧】

ドローンを活用した高所・閉所での設備検査の効率化（王子ゴム化成株）

化学プラントや発電所に提供しているゴム加工した大型設備の点検時にはタンク内に足場を組んだ点検等を行っているが、安全性の確保・作業効率・コストが課題となっている。
⇒GPSが活用できない閉所でも利用できるドローンを使用することで、点検業務の効率化を行う。

複数のXR技術を活用した技術伝承・遠隔支援（鋼鉄工業株）

機械の組立・調整等の作業については、現場で技術を習得することが多いが、特に大型機械は全体が見渡せず、作業の流れを理解するのが難しい。
⇒360°視点映像*とARグラスを活用し、熟練技能者の作業ノウハウや品質安全知識を若手社員に分かりやすく習得させる。

※視点を自由に切り替えられる新型動画技術

点群データによる3D立体化（遠隔採寸、確認検査）（徳機株）

現在、該社の製品については、発注者が該社工場まで出向き、寸法検査を行っている。
⇒工場で製造した製品等の立体情報を3Dスキャナで撮影し、点群データとして3Dモデル化することで、遠隔地から詳細な画像の閲覧を可能にするとともに、遠隔採寸にも取り組む。

5G通信とクラウドを利用したロボットAI制御（株YOODS）

ロボットに視覚機能を持たせるため、現在は工場内部に高性能PCをロボットごとに配置しているが、イニシャルコストがかかるため普及の障害になっている。
⇒複数のロボットとクラウド上の高性能サーバ（1台）を5G通信で接続し、AI制御を行う。